

北後志消防組合積丹支署

消防ニュース

全道消防大会に参加

積丹女性防火クラブ表彰
皆川団員が活動事例発表

8月30日に余市町総合体育館で第76回北海道消防大会が開催されました。

道内各地から1,000名を超える消防関係者が参集し、消防職団員の団結強化と士気の高揚を図るなどを目的に表彰や感謝状の贈呈が行われました。



▲山崎積丹女性防火クラブ会長（写真左）と郷六副会長

積丹消防団からは、富士谷

団長、中村副団長、佐々木分

団長、加藤分団長、生駒分団

長、皆川分団員の6名、積丹

女性防火クラブから山崎会長

と郷六副会長の2名、積丹支

署から8名が参加。積丹女性

防火クラブは、北海道消防協

会より道内で唯一、優良消防

関係団体表彰を受けました。

また、消防団活動事例発表

に全道から選ばれた2事例で

は「積丹しおかぜ羊」で奮闘

している皆川分団員が積丹消

防団の現状及び今後の展望

と、積丹町の紹介についての

発表をしました。

これからも町民の皆さんが

安心・安全に生活できるよう、

積丹支署、積丹消防団、積丹

女性防火クラブ一丸となって

取り組んでいきます。



▲事例発表する皆川団員（写真左）と積丹支署 石川士長

「もしも」に備えて!

美小・日小避難訓練実施

9月2日に美国・日司両小学校で避難訓練を実施しました。

避難訓練では「お・は・し・も」をしつかり守り、冷静に素早く避難することができていました。

町民の皆さんも、もしもの時に冷静に動けるよう日頃から防災の準備を心がけましょう。

※『おはしも』

お…押さない
は…走らない
し…しゃべらない
も…戻らない

今月の納期

- 国民健康保険税 第4期
納期限 10月25日(金)
- 介護保険料 第4期
納期限 10月25日(金)
- 後期高齢者医療保険料 第4期
納期限 10月25日(金)
- 町道民税 第3期
納期限 10月31日(木)
- 上下水道使用料金 9月分
納期限 10月31日(木)
- 住宅使用料 10月分
納期限 10月31日(木)

(注)口座振替をご利用の方は、**10月25日(金)**に引き落としになりますので、前日までに残高の確認をお願いします。

【問い合わせ先】役場税務課 TEL44-3384

～町内9団体・事業所に14名～

新しい地域おこし協力隊員を紹介



(株)新生 (余別町)
うえの たつや
上野 竜也 隊員

地域の皆さまと協力し、積丹の土地の魅力を広めて地域活性化に貢献できるよう、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いします。
(愛知県小牧市出身)

9月1日現在、14名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍中です。

各隊員の取り組みや今後の目標など隊員を中心に作成の「町おこし広報」(本誌9頁)もあわせてご覧ください。

まちの日記帳



積丹町のシンボル！ 神威岬灯台オープンデー

8/24

8/25

第一管区海上保安本部(小樽市)より指定を受けた**航路標識協力団体「実のなる杜推進協議会」**(岩井宏文代表)と関係団体が、神威岬灯台内部の一般公開を2日間行いました。

「初代・神威岬灯台の点灯」と「第一等不動レンズの里帰り」をかなえた日で、本公開は神威岬灯台の136周年を記念して行われたものです。

当日は、「実のなる杜推進協議会」の構成員がガイドを務め、道内外から総勢314名の参観者が訪れました。ガイドは、灯台守の暮らしやその苦難の歴史、町の産業、灯台の航路標識としての役割について解説したほか、展望デッキも開放し、参観者は美しい積丹ブルーの景色を堪能しました。



積丹町から9名が参加 後志身体障害者福祉大会 ・後志身体障害者スポーツ大会

9/5

第59回後志身体障害者福祉大会・第51回後志身体障害者スポーツ大会が9月5日に余市町総合体育館で開催されました。

本大会には後志管内13町村の身体障害者福祉協会から140名の会員が参加。町からは、**積丹町身体障害者福祉協会**(與坂秀晃会長)9名が参加しました。

イベントでは、日本民謡協会教授の新岡健一氏による民謡の披露や全員参加の運動競技を楽しみました。参加者は「他町村の会員の方と交流できるいい機会でした。」と話していました。



親子・地域で楽しむ みなと保育所運動会

9/1

みなと保育所運動会が開催され、園児は地域の皆さんに見守られながら元気いっぱい取り組みました。

この日はかけっこや玉入れ、綱引きやお遊戯などが行われ、練習の成果を一生懸命に披露する園児2人の姿に父母や地域の皆さんなどからはたくさんの拍手や声援が送られました。

また、父母が参加する種目や親子で一緒に取り組む種目も行われ、最後に行われたリレーでは参加者全員が白熱した走りを見せ、地域が一体となって作り上げた運動会は大変な盛り上がりとなりました。



日本の四季・秋を学ぶ

びくに・みなと保育所合同「十五夜会」

9/17

十五夜会をびくに保育所で行いました。

園児は自分たちで採ったすすきのほかに、紙を使って作成したすすきやうさぎ、栗や団子を仲良く飾りました。

十五夜会では、先生から十五夜の意味を教えてもらい、おやつに団子が振る舞われました。



交通安全を願って

「ひまわりの絆」プロジェクト

みなと保育所園庭で「ひまわり」が咲きました。

このプロジェクトは、交通事故で亡くなった道内の4歳児が育てていた「ひまわり」から採れた種をつなぎ、その子が生きた証と交通安全を呼びかけるものです。

筒塩余別駐在所主任から本プロジェクトの存在を聞いた2人の園児は、種をまいて一生懸命に育てることを決意。6月から2人が大切に育ててきたひまわりは、8月中旬にはつぼみがつき、ついには大輪の花を咲かせました。採れたひまわりの種を来年も植えようと園児は張り切っています。



▲みなと保育所園児2名と筒塩余別駐在所主任